



輝くあさひ

第 62 号

発行 朝陽地区住民自治協議会
 会長 萩原高二郎
 編集 広報部
 印刷 株式会社双真

謹賀新年

令和5年元旦



「こ来光」撮影場所…長野運動公園 写真提供…早川球喜様(石渡)

新年のご挨拶

朝陽住民自治協議会 会長 萩原 高二郎



新年明けましておめでとうございます。朝陽地区の皆様におかれましては、新春を迎え、今年こそは新型コロナウイルス感染症を克服できるという希望に満ち溢れていることと存じます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響により多くの事業が中止又は規模の縮小が余儀なくされました。しかしながら、創意工夫によりある程度の事業を実施することができました。ひとえに関係者の努力のたまものと敬意と感謝の念で一杯です。

一昨年中止になった「ようこそ市長室」では、2項目について意見交換をいたしました。一つ目は、10年前から要望しておりました「朝陽総合市民センター」(仮称)の早期建設について要望をし、令和8年度頃から建設事業が着手される可能性が見えてきました。大きな前進ではありませんが、ある程度先が見えてまいりました。二つ目は、「空き家対策」についてです。長野市内には8,000棟以上の空き家が存在しています。そして多くの空き家が管理不全の状態、庭の枝葉が伸び放題で、猫や獣の棲家になっていたりと、害虫が発生する温床になっていたり、隣近所の住民は、どうすることもできず困っているのが現状です。所有者の同意がないと何もできないのが現状ですが、今年の4月に民法が改正され、このような状況が改善されるとのことです。行政には弾力的な法律の運用により住環境の保全にご協力いただくようお願い申し上げます。

地域の発展と安全安心なまちづくりを目指して事業を推進してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。新春の門出にあたり謹んで皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

<新年のご挨拶>

朝陽支所長 中村 元昭

謹んで新年のお慶びを申し上げます。朝陽地区住民自治協議会関係者をはじめ地区の皆様には、日頃より、行政運営にご理解、ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

昨年、朝陽地区では、令和4年度から8年度までを計画期間とする「朝陽地区第三次地域福祉活動計画」が策定されました。地区独自の福祉課題に対する取組みを具体的な計画として表されたことは、様々な生活課題を抱える地域住民を地域全体で支える「地域共生社会」の実現を目指す長野市にとりまして大変意義深いものであり、計画策定にご尽力いただきました関係の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます。

私は、昨年の4月に支所長に着任以来、地区内の様々な活動に関わらせていただいております。新型コロナウイルスによる制約がありながらも、地域の皆様がお互いの見守りや支え合い、居場所づくりなどを自ら考え行動に移す姿に、また、あさひかがやき事業として菊芋の栽培、朝陽市場の開催など地域の特色を活かした活動を続けておられる熱意に、朝陽地区の明るい未来を感じております。

長野市では、支所長を地区活動支援担当に任命し、地区の活動を支援しております。令和5年におきましても、朝陽支所は地域の様々な活動に参画・支援してまいりますので、職員一同よろしくお祈り申し上げます。

本年が、朝陽地区の皆様にとって、明るく輝ける年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

朝陽地区住民自治協議会

(事務局) 長野市北尾張部226-9
 電話・fax 026-219-1068
 ホームページ <http://asahi-jk.jp>

朝陽地区人口：15,093人(15) 6,461世帯(9)

=2022年12月1日現在。()内は同年前月比

| | | | |
|------|-----------------|---------------|----------------|
| (内訳) | 南屋島 812人(+2) | 北屋島 502人(-1) | 北長池 2,581人(-5) |
| | 北尾張部 2,444人(+4) | 石渡 2,627人(+2) | 南堀 2,677人(+9) |
| | 北堀 2,631人(+6) | 桜新町 819人(-2) | |

「ようこそ市長室へ」で市長室を訪問しました

8月26日、朝陽地区住民自治協議会の萩原会長はじめ役員7名が長野市の市長室を訪問し、総合市民センターの早期建設及び空き家対策について、萩原市長及び担当部課長と懇談しました。

市側から、「朝陽地区から公民館の老朽化や本館と分室が分かれていること、同様に駐車場も北八幡川を挟んで不便であることから、総合市民センターの建設要望を頂いてきた。令和3年度策定の長野市公共施設個別施設計画では、朝陽公民館は、計画期間内に支所や公民館との複合化を図り、総合市民センターとして整備を検討したい。又、朝陽支所は、地域の活動及び防災拠点であるが手狭であり、公民館と複合化を図り、総合市民センターとして整備する方針を示していたが、令和元年東日本台風災害で被災した長沼交流センターと豊野公民館の建設を最優先したため、事業着手の時期は明示できない。長沼・豊野の両事業に一定の目途がついたら、個別施設計画期間内の後期に示めせるよう検討したい」など説明があり、整備事業の諸課題について意見交換を行いました。又、空き家の諸課題に関し、市と近隣住民との情報共有など意見交換を行いました。



いつでも、どこでも、だれでも被災者 ～令和元年東日本台風災害の語り部からのメッセージ～

9月6日、朝陽支所2階集会室で防災講座が開催され、長沼ワーク・ライフ組合代表の西澤清文氏から「いつでも、どこでも、だれでも被災者～令和元年度東日本台風災害語り部からのメッセージ～」と題し、講演がありました。

発災前の組織の動きとして、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、過去の洪水の教訓を生かし、堤防の高上げ等の堤防強化、防災体制づくり、防災訓練、地区の防災計画や避難ルールブックの作成などを行ってきた。

発災後の自主防災会及び住民の動きを、10月12日の16時半対策本部を長沼支所に設置し、同45分に長野市の警戒レベル3の避難準備、高齢者等避難が発令された。その後、17時50分に長野市の警戒レベル4の避難勧告が発令されたため各支部へその旨指示し、21時半に一旦本部を解散した。その後、千曲川が翌日の午前1時8分頃に越水し、2時15分頃、ライブカメラが倒壊、4時前に国交省が、目視で堤防決壊を確認した。その間、消防団は午前1時過ぎに半鐘を連打し、自主防災会は伍長などを通じ、住民の避難誘導・安否確認を、電話番号の分からないお宅は、近隣住民を通じて、避難誘導・安否確認を行った。それでも住民の2割が避難しなかった。午前7時に古里支所内に対策本部を再設置した。

被災後の復旧状況や復興に向けた組織の動きとして、泥だし・片付け（ボランティアのお陰）、災害ごみ仮置き場の調整・運営や防災訓練、マイタイムラインの作成、防災計画及び避難ルールブックの見直し、コミュニティタイムラインの作成、防災まちづくり座談会の開催、避難体制等を見直しなどを講演されました。



傘寿(80歳)のお祝いの会が行われました

朝陽地区社会福祉協議会では、毎年、9月頃に80歳になられた方にお祝いの品を贈呈していましたが、事業の見直しから「お祝いの会」を、9月15日に初めて催され、7名の方が出席されました。初めに古川朝陽地区社会福祉協議会長から「お祝品の贈呈だけでは、ちょっと物足りない。できれば80年過ごされてきた皆様の時間を一緒に共有できる場になれば…」とお祝いの言葉があり、次に参加された方々の紹介及び記念撮影後、信濃の伝説を語る会の皆さんから松代の明德寺にまつわる陽気な「酒飲み弥勒さん」、信州新町の久米路橋にまつわる悲しい少女の「あかいまんま食べた」及び「彼岸とヒーガン」の地域の民話の朗読を聞き、小林ユキ子さんの「コンドルは飛んで行く」「コーヒールンバ」及び「浜辺の歌」をアルバの豊かな音色の演奏に耳を傾け、楽しいひと時を過ごしました。



平和を願い、戦没者等追悼式

9月23日、令和4年度の戦没者等追悼式が朝陽地区遺族会などの関係者28名が参列し、朝陽支所の集会室で開催されました。式典は、10時から黙とうに続き、長野市遺族会の横田久会長から「二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう一層努力して参ることをここに堅くお誓申し上げます」。朝陽地区住民自治協議会の萩原高二郎会長から「命をもって示された戦争の悲惨さと平和への尊さを風化させることなく未来へ語り継ぎ、希望に満ち溢れ健康で心豊かな社会を永遠に築いていくことが私たちに課せられた使命であると信じております」と、朝陽地区遺族会の長田健治会長から「平和の尊さを次世代に語り継ぐとともに愚かな歴史を繰り返さないという強い信念のもとに、平和な社会の実現のため全力を尽くすことを堅く誓います」と、それぞれ追悼の言葉がありました。最後に参列者一人一人が献花し、式典を終えました。



第29回朝陽地区人権を考える住民集会 ～インターネット上における人権侵害の現状と課題～

10月8日、朝陽公民館体育館で朝陽地区人権を考える住民集会が開かれ、セーフティネット総合研究所所長南澤信之氏から「インターネット上における人権侵害の現状と課題」と題し、講演がありました。

人権は、憲法上保障されている何人も侵害することができない権利です。しかし、ネット社会になってプライバシーレスとなり、人権侵害の事案が絶えません。インターネットは、永久保存性があり、一度、情報が載ると完全削除が不可能で、一生苦しむこととなります。

ネットは、自らの目的に応じ、ツールを使い分け、一つのツールに依拠してはならない時代になっています。

又、ネットと向き合う時は、特徴をしっかりと理解・認識した上で、常に「自分の思考」に偏りが無いかを検証することができ、様々な立場に自分を置き換えて考えることができる力が必要です。ネットは、何時でも誰でも使える非常に便利な道具です。だからこそ、時間とか、場所とか、人を大切に、普段の生活を大切にすることが大事です。皆で皆を守る、皆で安心して笑顔で生活をおくれることを願っていますと、講演を終えられました。



地域福祉懇談会

10月12日、石渡区福祉懇談会が石渡公民館で行われ、朝陽地区社会福祉協議会会長の古川晴雄氏から「第四次長野市地域福祉計画」の理念を共有しつつ、第二次地域福祉活動計画の評価と地域課題を踏まえ、この度「朝陽地区第三次地域福祉活動計画」を策定した。この計画で、特に力点を置いたのが「福祉と防災の連携づくり」である旨を説明されました。続いて、長沼地区復興対策企画委員長の柳見澤宏氏から令和元年度の水害の行動指針となった「防災ルールブック」の作成に至った経緯及び「大災害時に長沼地区として、区長の立場として、どう取り組んで乗り越えたか」を。又、被災時には弱者、要支援者の避難が課題になるが、令和元年の長野市洪水ハザードマップ改正で長沼地区に避難所が無くなり、その前年まで避難所であった古里小学校にお願いし、許可を得て5時15分に弱者、要支援者の避難を指示した。など講話されました。



第44回朝陽地区青少年健全育成推進大会 ～次世代に伝える男女共同参画～

10月15日、朝陽支所2階集会室で第44回朝陽地区青少年健全育成推進大会が開かれ長野県男女共同参画センターあいとびあの安納吉野氏より「次世代に伝える男女共同参画」と題し、講演がありました。

男性と女性が役割を分担して生きているという事は、とても大事なこととして時代が変わって生体的な価値観も変わってきたなかで、男女共同参画の価値観をしっかりと引き継いでいかなければならないと前置きし、男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野に活躍できる社会という事で、男性が作り上げてきた社会に女性が係わることを受け止める事が必要になる。そして性別役割分担意識の解放ということで、古い固定的性別役割分担意識を変え、男性が優遇されている場、特に意思決定の場に3割以上の女性が参画できるような環境整備を行い、女性が自分のことを自分できめながら生きる力をつけられるようにするなど目指す男女共同参画社会などを講演されました。



きたほりウォークラリー 北堀

肌寒い曇り空。北堀公民館が主催、北堀区が共催で10月9日の9時30分から「きたほりウォークラリー」を開催しました。今年度もコロナの影響で中止になった運動会の代わりとして企画されたイベント。北堀在住の方を対象に感染症対策も実施しながら、区内3ヶ所のチェックポイントを1時間以内に徒歩で通過します。スタンプカードにハンコを押してもらい、目指すゴールは北堀公園。受付でカードを提出すると抽選会にエントリーできます。

公園ではお菓子が貰えるストラックアウトや輪投げのゲーム体験もあり、ゴールした子ども達を楽しそうにチャレンジしていました。最後は11時から「北堀ウルトラクイズ」とウォークラリー参加者へ「プレゼント抽選会(対象146名)」が行われました。クイズでは10名がクオカード、抽選会では国産和牛、お米券、グルメカードなどが当たり、大いに盛り上がった秋のイベントとなりました。



みんなで楽しんだ「ペタンク」南堀



10月2日に南堀公民館主催のペタンク大会が信州大学教育学部附属中学校の校庭で開催されました。参加チームは12チーム。1チーム3名編成で36名の方が参加。内1チームは当日の飛び入り参加でした。ペタンクはフランスで発祥したスポーツです。特徴は手にしたボールを約6~10m先のピュット(目標)に向かって投げたり転がしたりして近づけ得点を競うスポーツで、相手チームのボールに当てて弾き飛ばしてしまうのもOK。カーリングにとっても似ています。

初めの頃は経験者・未経験者の差があり一方的な試合が多かったのですが、数試合経過すると慣れてきて熱戦が繰り広げられるようになり、参加者全員がペタンクの楽しさを満喫した大会になりました。

さくら元気クラブの活動状況 桜新町

本年度は、4月から「はつらつ体操」を休むことなく毎週木曜日に実施しています。コロナ禍ではありますが一人ひとりが日々健康管理に留意し自己責任で参加することを基本としています。開催場所の公民館では、マスク着用、手指手洗い、検温、間隔の確保、広間の換気、椅子及びカーベットの消毒など感染予防対策を行い、三密の回避を徹底実施しています。

体操後には、間隔の確保や手指の接触などを特に注意しながら「頭の体操」「唱歌の合唱」「小物作り」月末には「お茶会」などで楽しんでいます、また終了時の椅子などの消毒や後片づけは参加者全員で行い終了としています。今後も可能な限り「フレイル予防の場」「楽しいおしゃべりの場」など「通いの場(居場所づくり)」の実施に取り組んでいきます。



芸術の秋 北尾張部



北尾張部公民館では11月6日、第50回文化祭が開催されました。今年も昨年に続き新型コロナウイルス感染対策として舞台発表は中止となりましたが、書道や生け花・写真・木工芸など、いずれも素晴らしい作品が広間いっぱい展示され、まさに芸術の秋を感じる1日になりました。また、会場には男女共同参画やジェンダーバイアス(人や社会が無意識のうちに性差や男女の役割について固定的な思い込みや偏見を持つこと)に関するたくさんのポスターが掲示されたほか、『尾木ママと一緒に考えよう!ほくたち私たちの人権』という人権啓発ビデオが上映され、訪れたみなさんが足をとめて見入っていました。

ポッチャ講習会 石渡

9月21日、ポッチャ講習会が運動公園体育館で20名程が参加して開かれました。ポッチャはパラリンピックの正式種目ですが、日本ではまだ馴染の浅いスポーツです。参加者全員も初体験で、講習会と言うよりポッチャ体験会という装いでした。

試合の流れは、赤と青のボールそれぞれ6個、白のボールを1個使って、ボールを的となる目標球（白のジャックボール）に投げ合う競技で、赤・青のボールは投げる・転がす・蹴るなど様々な方法があるとのこと。

又、勝敗はジャックボールに一番近いカラーボールを投げた側（チーム）が勝ちとなります。大会競技では、戦略があり、技術も必要そうですが、この会は、楽しんでいただくことが1番という事で和気あいあいと競技が進行しました。



ボウリング大会 北長池



10月16日、北長池公民館主催による「ボウリング大会」が初めて開催されました。従来は「運動会」という方式でしたが、感染症対策や会場の都合、準備の負担、全世代が参加できる形など、役員が現状を踏まえた代替案を模索していき、今回の初開催に至りました。当日は公民館長の始球式に始まり、老若男女問わず30名以上集まった区民が大いに盛り上がりました。中にはボウリングが10数年ぶりという方や、初めてチャレンジするというお子さんもいましたが、親子や世代別にレーンが分けられ、ハンデの設定のほか景品や参加賞もあり、誰もが楽しめるイベントになりました。様々な行事の開催中止が続く中、久々に区民が体を動かし交流を深められる良い機会になったのではないのでしょうか。

第46回北屋島文化祭 北屋島

10月10日に文化祭が北屋島公会堂にて開催されました。文化祭では、北屋島の学術的資料をはじめ、生け花や絵画、写真、盆栽、手芸作品や自由研究など区民の方々の力作が多数展示されました。今年は、新装された御神楽の披露もありました。御神楽は、一般財団法人自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業を目的としたコミュニティ活動の支援として、新装されたものとなります。最近三年ほど秋祭りの御神楽奉納が中止となっており、早く区民の皆さんの前で御神楽奉納が行われることを願っています。当日来場された方々は、出展された作品に足をとめて楽しんでいました。



初めてのウォークラリー 南屋島



第一チェックポイントの皇太神社には、長蛇の列ができました。これは、10月16日に開催された南屋島区初のウォークラリーの光景です。当日は、秋晴れの汗ばむような陽気の中、小さな子どもからお年寄りまで80人近くの参加者が、全行程約2キロに設けられた3か所のチェックポイント（皇太神社、杉の子あびっく保育園、稲荷神社）を思い思いのスピードで歩いて巡り、用意されていたクイズやゲームなどを楽しみました。ゴール会場に設営された射的やガラボン、サッカーゲームには、子どもたちが大喜びで挑戦していました。このラリーは、毎年恒例としていた運動会の代替行事として3年ぶりに実施した区民参加のイベントでしたが、ようやく戻った子どもたちの笑顔に、運営に当たった公民館役員や育成会役員も胸をなでおろした様子でした。

朝陽市場（軽トラ市）で新鮮野菜などを販売

11月4日、秋の澄み切った素晴らしい天候に恵まれ、あさひかがやき事業実行委員会が主催する地元で採れた新鮮野菜を軽トラックの荷台で販売する朝陽市場（軽トラ市）が開催されました。千曲川リバーフロントスポーツガーデン特設会場で午前9時から正午までと、短い時間の開店でしたが多くの来場者で賑わいました。6台の軽トラックの荷台には、地元で採れたりんご、サツマイモ、カボチャ、白菜、ほうれん草及びネギなどの野菜や菊芋焼酎が並び値段も均一価格や袋売りなど工夫を凝らし、販売していました。又、三々五々訪れた地区の方々は、目当ての野菜などを吟味しながら、買い求めていました。開店間もなく荻原市長が来場され、野菜を買い求めていました。周囲のスタッフとの会話も弾んでいた様子でした。又、500円以上の買い物で、がらから抽選ができるお楽しみもありました。



地域の学び 浅川ダム見学会が行われました

11月4日、朝陽公民館主催の浅川ダム見学会が行われました。浅川ダムは、浅川が飯縄山に源を発し、千曲川迄と流路短く、急峻で天井川であったことから、水害が頻発し、近年の「ゲリラ豪雨」による水害が予測されることから浅川の河川改修事業と併せて治水専用施設として、浅川一ノ瀬に平成29年3月に建設されました。その概要は、重力式コンクリートダムで普段は川に水を流し、ダムに水を溜まることがない流水型ダムで、洪水時は一定の水量を流し、ダムに洪水を溜め、満水を超えた場合は自由越水で流し、土砂の流下や魚の遡上を妨げない「環境に優しいダム」とのことです。当日は、ダムの管理棟で説明を受け、ダムの天端及びエレベータでダム底の魚道や通常時の水路を見学しました。ダムだけにその威容さに驚きました。



朝陽長寿会体育祭開催

10月14日、抜けるような青空の下、朝陽長寿会連合会主催の体育祭が行われました。2019年は台風19号関連被害のため中止となり、2020年と2021年は新型コロナウイルス感染症のために開催出来ませんでした。今年は、感染症対策をしっかりと行い、4年ぶりの開催となり、ペタンクとグラウンドゴルフの二つの種目に朝陽地区の8つの長寿会から70名の選手が集結しました。

参加された選手のはつらつとしたプレイが数多く見られ、朝陽地区長寿会会員相互の親睦と友好が深められました。ペタンクの優勝は北尾張部Bチーム、準優勝は北尾張部Cチーム。グラウンドゴルフの優勝は、男子が降旗勝美さん（北堀）女子が服田君子さん（南堀）でした。



学校法人
理知の杜

松本国際高等学校

通信制長野学習センター

長野市北尾張部385 赤沼ビル 1F B ☎026-243-1379

完全個別指導塾

学研CAIスクール

対象：小学生、中学生、高校生
教科：国語、算数、数学
英語、理科、社会

学校の授業がもっとよくわかる!!
学研の個別指導塾

尾張部教室 TEL (026) 256-9131 長野市北尾張部385



読心力・考える力——伸びる学力

学研教室

幼児・算数・数学・国語・英語

学研 北尾張部教室 長野市北尾張部385 256-9131

●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社

丸陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10 TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町綱島490-5 TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108